

日本多読学会による

英語多読指導 ガイド

Japan Extensive Reading Association

< 目次 >

- 1 多読と多読指導
- 4 音源・映像の利用法
- 5 GR等の音源について
- 6 多読の導入授業について
- 8 多読についてのよくある質問
- 11 多読指導者からのメッセージ
- 16 YL (読みやすさレベル) について

多読と多読指導

多読とは

- (1) 辞書をできるだけ引かずに、
 - (2) もとの英文を日本語に訳すことなく
 - (3) 理解度 100% にこだわらず、理解度 80～90% で
 - (4) 大量に、長時間にわたって英語の本を読む
- ということです。

辞書利用について

辞書を引くと、英語の意味がよりはっきりと分かるというメリットがありますが、辞書を引くたびに、本来の読書が中断されるというデメリットがあります。ですので、メリットとデメリットを読者（学習者）自身が判断して、辞書を引く頻度をコントロールしてください。

辞書は引いてもよいのですが、まずは、全く辞書を引かなくても読めるような読書法を身につけることが大事です。そのためには、辞書を引かなくても理解ができる、易しいレベルの本から多読を始めるのがコツです。

日本語に訳さないで読む

日本人なので、どうしても日本語に訳してしまうのは止むを得ません。しかし、「訳して理解する」のではなく、英語のまま理解する癖をつけましょう。そのために、一番効果的な方法は、英語の朗読を聞きながら読む、あるいは、音読しながら読むということです。

80 - 90% の理解で読む

理解度 100% で読むことにこだわると、短い文章を読むのでも、何時間もかけることになってしまいます。このような読み方は精読と言われます。精読も一つの英語学習法であり、それも必要ですが、精読だと、長い本（例えば 1 冊 1 万語を超す小説）を楽しむことができません。長い本は、ところどころわからなくても、筋の流れを理解するだけで十分に楽しむことができます。かといって、知っている単語と挿絵でストーリーを想像するだけだとやはり英語力は伸びません。

$$(\text{英語力の伸び}) \propto (\text{読書英文量}) \times (\text{理解度})^4$$

という仮説を私（古川）は提唱しています。この仮説によれば、理解度 5 割で多読すると、理解度 8 割の多読に比べて、

$$(0.5)^4 / (0.8)^4 = 0.15258\dots$$

なので、15% 程度の効果しかないことになります。

従って、生徒を指導するには、8 割の理解度（その本の

内容について簡単な質問をしたとき、5 題に 4 題は正解する程度) の理解度で読むように指導するのが良いでしょう。

大量に長時間読む

多読というのですから、ある程度長時間集中的に読む、また、1 年間を通じて、長時間読むということが必要です。多くの多読指導者は、自分のクラスの指導経験から、多読で効果が上がるには、年間 30 万語程度の多読が必要と言っています。日本人の場合、読書速度は、遅い人で分速 80 語程度、速い人で分速 200 語程度なので、十分に効果を上げるには、年間で 1500 分～3750 分、つまり、25 時間～62.5 時間程度の読書時間が必要となることになります。

どうして多読なのか？

英語を学ぶのに、英文法、語彙の知識が必要なことはいうまでもありません。通常の授業では、授業時の生徒の理解度を上げるために、焦点をしばって特定の文法事項や特定の表現を強調して教えるのが普通です。

しかし、実際に「英語で会話する」、「英語で、メールに返事する」、「英語の文献・本を読む」という場合には、細切れの知識だけでは、速やかに対応できません。

授業で習った一つ一つの単語の意味、語法、文法を総合的に使いこなさないと、英語運用能力は上がっていきません。総合的な英語力を上げるには、「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で討論する」、「英語でメールする」など、英語を実際に使って、英語で考える訓練が必要です。

「英語で討論する」、「英語でメールする」機会は多くなくても、「英語で本を読む」ことは、日本に住んでいて、英語母語話者と接触の無い英語学習者でも可能です。「英語で考える」もっとも気楽な学習法が、大量に英語の本を読む英語多読です。

英語で本を読む利点

英語で本を読む利点はたくさんあります。

- (1) 一人で、場所を問わずに読める
- (2) 英語を英語のまま読むことで、英語で考える脳を作れる
- (3) 例え間違えた解釈を一時的にしたとしても、会話と違って恥ずかしくない
- (4) 内容のあるまとまったものを読むので、楽しく、ストレスなく続けられる

などです。語学では、継続は力です。どんなメソッドでも、長く継続しない限り、確かな効果がありません。その点、多読は楽しく長く続けられるという、最大の利点があります。多読で英語力を上げながら、他の方法を併用してさらに力を伸ばすのが良いでしょう。

多読と精読

精読は、一語一語の意味、一文一文の意味をしっかりと理解して読む読み方です。本来の意味からすれば、英語のまま精読というのもありなのですが、日本の英語の授業では、一文一文の文型 (SV, SVC, SVO, SVOO, SVOC) に着目し、一文一文を日本語に翻訳するという授業を精読ということが多々あると思います。多読では、基本的に、5文型に分けて分析的に読むということはありません。しかし、多読といえども、句や節のまとまりを意識し、どの句がどこにかかっているのかをしっかりと理解しながら読むことは大事です。そういう意識が全くないと、長い文章を正確に読むことは不可能ですし、自分で英語を書く場合に、長くて正確な文章を書くことはできません。多読と精読は、対立するものではありません。特に、小学生・中学生が初めて多読するときには、「分からないところは飛ばせ」という指導をするよりも、「もし分からなかったら、先生に聞いて」という指導をする方が良いでしょう。

すべり読みの危険

中高生を多数教えている私の塾には、毎年新中1生が300名以上「中1多読クラス」に入会しますが、その中には、毎年数名、「小学生の時に大量に多読し、*Harry Potter* も読んだことがある」という生徒が入ってきます。その中で、20名に1名程度は、「本当に *Harry Potter* レベルの洋書が読める」ようになった凄い生徒なのですが、20名中19名は、「読んだ気になっているだけ」の生徒なのが実情です。*Hatchet*, *Darren Shan* など、すでにいろいろな「児童書を読んでいる」と本人も親も思っているのですが、あらすじを聞くと全く答えられない、McGraw-Hill の *Timed Readings* の読解テストをしても殆ど解けない、Writingさせて見ると間違いだらけという生徒が多いのです。こういう生徒は、知っている数少ない単語を拾い、想像力豊かに本を読み、全く別のストーリーを創り上げて楽しんでいるのです。このような読み方を、「すべり読み」、「妄想読み」と言いますが、多読では、原則内容理解のテストをしないため、特に、小学生や中学校の低学年では、この現象が起りがちです。

従って、特に、低学年での多読の導入時には、(1)「分からないときは、しっかりと考える」ことを徹底させること、(2) 非常に易しい「確実に分かるレベル」から始めることの2つが重要です。小学生が対象の場合、「多読」の前に、「読み聞かせ」で、内容を確認しながら先生と一緒に読む経験を十分にさせることが良いと思います。

多読に適した英語図書

英語学習のゴールの一つは、英語の長編小説や専門書を、流暢に読むことだといっても良いでしょう。多読の最終目標も、辞書をほとんど使わずに、長編小説や専門書を読めるようになることです。しかし、最初から長編小説に挑戦することはできません。ですから、英語初心者を読める本から始めて、徐々にレベルを上げていくのが良いのです。

英語を全く学んだことのない人の場合、単語の読み方も、単語の意味も全く分からないので、非常に簡単な絵本ですら、理解は不可能です。しかし、英語を100時間位学んで、英語の規則がちょっと分かり、100語程度の英単語の意味がおぼろげでもよいかから理解できれば、その位の英語力でも十分読める英語の絵本は存在します。

一つは、英語の母語話者の子供が、読めるようになるように工夫された、英語の母語話者向けの、Leveled Readers (LR と略します) というレベル分けされた本です。この易しいものは、1冊50語程度の単語で書かれており、英文も非常に簡単な構造のものしか出てこないので、挿絵と朗読CDがあれば、英語初心者でもそれなりに理解できます。Leveled Readers の代表的なものに、イギリスで出版されている Oxford Reading Tree があります。

もう一つは、英語学習者用に開発された、Graded Readers (グレイディッド・リーダー) というタイプの本です。GR と略されるこのタイプの本は、英語学習者用に作られているので、英語の文法、英語の単語が丁寧に制限されています。高校生・大学生・社会人用に作られているものは、大抵7段階にレベル分けされていて、基本単語200語だけで書かれたものから、基本単語3000語で書かれたものが用意されています。

Graded Readers (GR) の利点

Graded Readers (以下 GR と略します) の利点は、基本単語や表現が繰り返し出てくるように工夫されているので、同じシリーズの同じレベルのものを大量に読むことによって、自然に、同じ表現に何度も触れ、語彙や文法が習得あるいは強化されやすいということです。また、学習用なので、理解チェック用の問題が巻末についていたり、基本単語以外の表現については、語彙表 (glossary) がついていて、読書の前後に語彙をチェックすることができるようになっていることが多いです。最近では、英語を学び始めたばかりの小学生向けの GR や、基本単語75語程度で書かれた GR や、1冊500語～1000語程度の短いノンフィクションの GR も増えてきました。

Leveled Readers (LR) の利点

Leveled Readers (以下、LR と略します) の最大の利点は、英語母語話者の幼児・小学校低学年の生徒という広い読者を対象としているので、様々なシリーズがあり、全体の冊数が非常に多いということです。多読では、ゆっくりとレベルを上げる方が効果的であり、そのためには、ほぼ同じレベルで、大量の英文を読むことが必要です。GR も最近はいろいろなシリーズが増え、冊数も増えたとはいうものの、LR の冊数にはかないません。GR だけでなく、LR や、英語母語話者の小学校低学年向けの易しい児童書 (Chapter Books) を併用するとレベル上げがよりスムーズとなり、多読がより魅力的になります。

ただし、LR のレベル分けは、GR に比べるとかなり雑です。特に、単語は、かなり易しい LR でも、外国人学習者には難しいものも出てきます。ですから、LR・児童書は、指導する先生がしっかり事前に読んでシリーズの特性を理解してから多読指導に取り入れる必要があります。

多読授業のかたち

多読授業の形は、学校ごとに違います。どれが一番良いかということは一概には言えません。ただ、長期間にわたって多読指導が成功している (= 生徒の成績がはっきり伸びている) 学校では、

- (1) 授業内に実際に読書をする時間が確保できている (例えば、週 1 回 50 分、年間 30 回など)
- (2) 先生が生徒の読む本をコントロールして、一人一人に適切なレベルの本をすすめている (背伸びして、どんどんレベルを上げると、必ず、途中で挫折し、多読が止まってしまう)
- (3) 洋書の貸出が可能で、授業外に、授業内以上に読む生徒が相当数いる (週末、夏休み、冬休みにもコンスタントに多読する方が、多読の効果は高い)

という共通の特徴があります。

授業内に多読の時間を確保するのは非常に重要です。授業中に、生徒が本を読んでいる様子を見ているだけで、生徒が「本を本当に読んでいるか」、「読書を楽しんでいるか」は大体分かります。また、生徒が本を読んだ後、先生がその本の感想を一人一人の生徒とシェアすることで、生徒の読書傾向を知ることできるし、その本を先生も読んでいることが分かると、生徒と先生の距離は縮まり、生徒は、だんだんと本当の自分の気持ちや、読みたい本を正直に言ってくれるようになります。

時にはレベル下げが重要

「難しい本を読む方がカッコいい」と思う生徒は多いので、自分が楽に読めるレベルではなく、もっと難しいレベルの本ばかり読んでしまう生徒が現れることが良くあります。この状態を放っておくと、段々と、生徒は疲れが溜まってきます。この状態を発見したら、本人のプライドを傷つけないように、うまく工夫して、先生の方でレベル下げを指示するのが良いでしょう。「レベルは下げても良い」と、生徒が理解すると、自らレベルを下げるができるようになります。

逆に、もっと読める力があるのに、レベルをいつまで経っても上げない生徒の場合、生徒を励まして、レベルの高い本に誘導してください。レベルの上げ下げをコントロールし、そして、生徒が楽しめそうな本を勧めることができるようになれば、多読指導の教師として一人前とってよいでしょう。

各生徒への適切な本の選び方

各生徒への適切な本の選び方は、ハッキリ言って難しいです。最初は、クラスのどの生徒も「こんな易しい本から読むの?」と疑問を持つ位の易しいレベルの本 (多くの場合、1 冊 30-50 語程度の LR や子供用の GR となります) から始めます。そして、(1) しばらくそのレベルの本を読み続けてもらう生徒 (2) 少しずつ、そこからレベルを上げていく生徒 (3) 急速にレベルを上げる生徒、を見極めていくしかありません。読書の様子、生徒の気質、生徒の英語の成績を総合的に判断して、生徒一人一人の様子を観察して、個別にレベルを調整していただきます。

そして、レベルが上がりすぎたら、躊躇なくレベルを下げて下さい。

まず、指導者自身が本を沢山読んで、生徒に自信を持って勧められる本を各レベルに数冊ずつ用意し、その感想をシェアしながら、各生徒のレベルを判定して、適切に本を選ぶようにしましょう。そして、読書力のある生徒を育ててください。

英語で本を読む醍醐味

英語で本を読むことは、単に英語力を上げるだけでなく、(1) 教養として読んでおきたい有名古典に触れることができる、(2) 中高生・大学生が主人公のヤングアダルトの本を読んで感動できる、という醍醐味があります。ぜひ、みなさんの生徒にもその醍醐味を味わってもらって下さい。

(古川昭夫・SEG 英語多読教室)

音源・映像の利用法

音源情報の重要性

文部科学省の元で2020年に始まる小学校外国語教育の充実として中学年で外国語活動・高学年で外国語科を導入。4技能5領域（「話すこと」がやり取りと発表の2領域に分化）となり、小学校3・4年生の指導計画は中学校・高等学校の接続を意識したものとなるよう促しています。従来中学校での指導内容の一部が小学校外国語教育へ移行、600～700語程度の語彙定着等を求め、日本語の良さに気付かせ、小・中・高等学校の一貫した言語教育としての学びが強調され、高等教育へのつながりが見て取れる中で、外国語科の目標に音源情報の重要性に触れた部分があります。

「音声に十分に慣れ親しんだ」ということについては個人差がありますが、思考力・判断力・表現力の育成、特に、「読むこと」「書くこと」2技能において言語構築における音声の重要性について言及され特記されました。

特に、5・6年生で中学校の文法事項が移行されたこの時期にこそ、十分に音声に慣れ親しませる時間の確保をすることで、外国語への興味関心を一層喚起させていくことが中学校・高等学校への橋渡しとなります。

思考力・判断力・表現力等

○ 小学校第5学年及び第6学年外国語

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝えあったりすることができる基礎的な力を養う。

読むこと

○ 小学校第5学年及び第6学年外国語

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

*活動例…音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。

書くこと

○ 小学校第5学年及び第6学年外国語

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

平成29年7月文部科学省
小学校学習指導要領解説外国語活動編
「注：下線は筆者による」

音源情報の多様性

小学校学習指導要領では、主たる音源情報元として英語教師・ネイティブスピーカーだけに留まらずデジタル教材にも触れています。

音源情報形態（肉声、カセットテープレコーダー、CD、音声ペン、動画、YouTube、e-book、電子情報等）の多様性から教室内、および学習者自身での音源確保がよりたやすくなってきました。それぞれの特性を駆使して音声に十分慣れることが身近になってきました。

音声と綴りが一致してくるよう繰り返し馴染ませるようにすると「聞くこと」「読むこと」が「書くこと」「話すこと」への繋がりに学習者自身が早く気付くことになるので、多様な音源媒体を指導者は使用できるように慣れておくことが大切です。

音声の一部を繰り返し聞かせたい時には、今でもカセットテープが便利です。また、デバイス利用では即座に学習者に音声で情報提供できるのみならず、URLの提示で音源情報を知らせることができ、学習者自身が音源情報の確保をできるようになりました。

小学校では中学年・高学年ともに2年間の枠組みで指導計画が組まれるので教科書中心の学習だけでなく、絵本など音源と一緒にフィクション・ノンフィクションなどバランスよく読み聞かせましょう。

作家自らが絵本とともに音読を提供しているものもあります。英語を楽しく学ばせきっかけになるでしょう。

音源・映像利用の際注意しなければならないこと

2019年1月1日付けで著作権法の一部を改正する法律（平成30年法律第30号）が施行されました。教育に関する第35条でも一部改正されましたが、あくまでも非営利団体への適応になっています。デジタル化・ネットワーク化を鑑み緩和されましたが、著作物等の保護期間は50年から70年と延長されていますので著作権の侵害をしないようご配慮ください。

（文化庁著作権課のHPより）

役に立つサイト・チャンネル

☆ Loyal Books

Loyalbooks.com

29言語、ジャンル別検索可能、オーディオとe-bookあり。英語だけで8500タイトル。無料。

☆ Adapted Mind

Adaptedmind.com

アニメの動画と簡単な数学の動画。

☆ Kindle Audible

amazon.co.jp

無料のものが増えてきました。

☆ Storyline Online

storylineonline.net

54冊の絵本。俳優による読み聞かせ。教室でも利用可。

以下は、YouTubeのチャンネルです。

★ English Fairy Tales (YouTube)

9言語、長いものでも16分位なので授業使用可能

★ Learn English Through Story (YouTube)

英文と音声のみ

★ English Speeches (YouTube)

ケネディからトランプまで著名人のスピーチ。
英語字幕付きも多数あり。

★ Learn English With TV Series (YouTube)

フレンズ、ハリーポッターなどで文法解説。

★ Luella Bibby (YouTube)

英文と音声のみ。1時間から3時間もの。GBMに最適

★ Peppa Pig Official Channel

390本のアニメーション動画。「チャンネル」をクリックしてください。他のアニメーション動画チャンネルが表示されます。

★ Boston English Centre (YouTube)

様々なシーンでの英会話。英文と音声

★ English Singing (YouTube)

Phonics Storyは、1本9分程度の作品です。2分間程度の簡単なストーリー(字幕なし)。次に同じフィルムでListen!(字幕あり。テーマのアルファベットは赤字)3回目はRead Aloud!字幕が出ますが音声はありません。4回目はYour Turn!字幕、音声ともありません。何度も繰り返し観たら言えるようになる作り方です。

以下もお勧めです。

★ Illuminated Films (YouTube)

★ EnOn-English Online (YouTube)

★ Top Film (YouTube)

★ Stanford (YouTube)

★ Harvard University (YouTube)

(鬼丸晴美 高槻中学・高等学校)

GR等の音源について

GRなどの英語多読用図書シリーズの朗読音源は、

- (1) 聞きながら読む、
- (2) 聞くだけで理解、
- (3) シャドーイング等の発話練習

に利用できます。特に(1)は、英語の発音やリズムが聞ける、ある一定のスピードで戻らずに読める、文章の区切りやニュアンスの理解の手助けになるという利点があります。読むスピードと朗読スピードが違くと、ゆっくり過ぎ、速過ぎで読みにくいと感ずるので、オーディオ・プレーヤーの機能で朗読速度を調整するといでしょう。(2)は中上級者向けで、最初は一度読んだ本で試すのが良いと思います。

ただし、教室、学校での朗読音声の利用では著作権に注意が必要です。CDのダビング、音声フォルダの保存や配布などは抵触しますので出版社に確認して下さい。

(1) 学生・生徒ごとにパソコンやタブレット端末を利用

この場合は、個別に以下のGRシリーズの音源ダウンロードサイトにアクセスして、ヘッドホン・イヤホンで聴けます。個人のスマートフォンも利用できるでしょう。

☆ Building Blocks Library ログイン不要

<http://mpi.sakkampress.com/>

☆ Page Turners ログイン不要

<http://ngl.cengage.com/pageturners>

Student Companion Site > Student Resources より

☆ Cambridge English Readers,

Cambridge Discovery Education Interactive Readers,
Cambridge Experience Readers

<https://www.cambridge.org/jp/cambridgeenglish>

Cambridge English > I'm a Student を選択し、メール登録して利用。シリーズ名からタイトルを選び、ResourcesのタブからAudioダウンロード

(2) 朗読音声 CD 等付属版を購入する GR シリーズ

○ Oxford Bookworms Library

○ Macmillan Readers

○ Pearson English Readers

(3) 英語授業向けのデジタル・リーダー (有料)

○ イーステーション (e ステ) (コスモピア)

○ BookFLIX (Scholastic)

○ TrueFLIX (Scholastic) A True Book シリーズ

○ Reading Oceans (いいずな書店)

○ Xreading Virtual Library (X Reading)

(神田みなみ・千葉県立保健医療大学)

どの授業でも、初回の授業が1年間の授業の成否に大きく影響します。多読の導入授業では、みなさん、どういう工夫をしているのでしょうか？多くの現場の声を紹介します。

英会話教室：小学生の場合

小柳典子 英語スクールリーチアウト主宰

生徒の多読開始時期を、定めています。我々のスクールでは、アルファベット学習が18文字(フォニックスサウンドで)終了した生徒が、多読をスタートできる仕組みです。予めその前から読み聞かせを始めておき、抵抗感がないようにしておきます。初回授業では、本の面白さ、CDプレイヤーの操作の楽しさ、などを説明し、また、最初から文字を追わなくてもいいので、絵を見て楽しく英語を聴くだけでもよい、という指導をします。10冊読むごとにガチャガチャができるようにしており、外的動機付けではあるものの、モチベーションの維持をはかっています。

英語塾：小学生の場合

高瀬敦子 岩野英語塾

英語に初めて接する小学生の初回授業では、英語での挨拶・自己紹介の後、多読・多聴授業とは、皆が好きな本を楽しくたくさん読んだり聴いたりして英語を学習する授業であることを説明します。導入として、字のない絵本を1冊選べず選択させ、絵を見ながらストーリーを読み解く練習をし、話をさせます。指導者は、登場人物の表情や絵から気付いた事や何が面白かったか等の質問をしながら、ストーリーの理解を深めるように指導します。その後、読書記録手帳に最初の1冊を記録させます。字がある場合は教材提示機を使い、ページを見せながら読み聞かせをし、話を推測させて英語をリピートさせます。

公立中学校の場合

栗下典子 郡上高等学校英語教諭、元・郡上市立八幡中教諭

人事異動の多い公立中学校では、担当教師の差異などにより生徒は様々な学習観を持っている場合が多いため、まずは対訳による逐語の理解の癖を取り除くことが重要です。学級を班に分け、同じ教材を各班で回し読みさせます。教材は絵本の初歩レベルで、表題にしか文字が記載されていないようなものが理想です。読んだ後、各班で表題の意味を話し合わせて班ごとに言葉やジェスチャーなどで発表させます。教師は、どの表現も「正解！」と言って生徒に自信を持たせることで、表現の仕方は様々で一つの訳語にこだわる必要はないことを確認させます。

私立中学校の場合

諸木宏子 A & A ENGLISH HOUSE 代表、元・西大和学園中学校英語講師

独自作成のプリントを用いて、多読の「案内図」を全員に把握してもらう。クイズ形式で生徒とやりとりしながら、多読の授業ではどのようにどんな本を読むのか、精読と多読の重要性、絵を見ることの大切さ、多読は語数競争ではないこと、多読3原則などについて学ぶ。次に、ORTのFetch!を読み聞かせする。読み聞かせの前に必ずfetchの意味を聞くが、帰国生以外は誰も知らない。読み終えて、改めて質問すると、「取ってくる」と口々に答える。次に多読手帳の記録の取り方を教え、Fetch!を第1冊目として感想を書いてみる。この後、ORT1から個々に読み進める。

英語塾：中学生の場合

逸見一志 ステップワールド・英語専門スクール代表

当スクールでは約8千冊の多読用図書をDB管理しているため、読みやすさレベル(YL)の範囲や、音声の有無などのデータをもとに、生徒一人ひとりに対して選書リストを作成します。中1生で、小学校で英語の文字にあまり触れていない生徒には、YL0.1-0.2の範囲で音声付のレベルドリーダを用意し、1冊の本を3回読むように指示します。1回目-絵を見ながら音声を聞く。2回目-音声を聞きながら文字を追う。3回目-音声なしで自力読み。中2、3生の初回授業では、多読3原則を説明したうえで、中1生同様に音声付の本を聴き読みから始めることが多いです。

大学受験塾：中学生の場合

古川昭夫 SEG 英語多読コース

中学受験で小6時に、英語をほとんどやっていない生徒もたくさんやってきます。中1基礎・標準クラスが多読の初回の授業では、テキスト(ORT1)を生徒人数分(12-14名)用意し、一斉に生徒全員に読む形で導入の授業をしています。1冊のテキストを、1回目は朗読を聞き、その後、先生が、ポイントの表現を日本語で解説したり、発音について解説したり、生徒に表現の意味を推測させたりした後、再度、リピート、音読、シンクローディングをしています。また、6冊読んだ後は、出てきた語彙の確認テストなどをして、最初は、「精読的」な多読からスタートします。

私立高校の場合

宮本恵理子 桐蔭学園高等学校英語教諭、元・神奈川県立高校英語教諭

英語を読むのではなく「絵本」の読み方を教えます。初回の授業ではORT1の文字無し絵本を読み、絵から情報を得ることを体験します。デジタル絵本をスクリーンに映し、一斉に生徒全員が同じ本を読みます。最初は絵本を見ながら朗読を聞き、次に絵を見て質問をして内容の確認をしていきます。その後、もう一度、朗読を聞き、聞き取れなかったところや見落としていたところを生徒各自で確認します。次の授業からは文字のある絵本ORT1+を読んでいき、徐々にレベルを上げて、知らない単語の意味を絵や内容から推測し、「英語を日本語に訳さず英語で読む」練習を重ねていきます

私立高校の場合

湯川敏子 筑紫女学園高校教諭

多読の魅力、必要性和「学校にはこんなに楽しい英語の本がある！」ということを伝えます。英語は大嫌い、やりたくない！と思っている生徒も多いので、まずはプリントで、暗記や和訳などの「お勉強」ではないこと、多読は「楽しい」「入試で時間が余った！」などという先輩の声、多読をするとどんなイイコトがあるのか、などを伝えます。その後、読み聞かせをしますが、絵本なんて子供っぽい！と思わせないように、生徒が知らない単語や表現に触れ、興味を持たせた上で、レベル分けした一番易しい本の中から好きな本を選ばせます。

大学受験塾：高校生の場合

古川昭夫 SEG 英語多読コース

5日間の春期講習からスタートします。高1では、いろいろなバックグラウンドを持つ多様で、また、英語力も様々な生徒がやってきます。英語が苦手な生徒には、ORT1-2をしっかりと読む、精読的な多読からスタートします。一方、高校受験で英語文法や語彙をしっかりと学んできて、かなり難しい文章もしっかり読める生徒には、FRL1やORT4などの読みやすい本から始め、短期間に、自分の読めるギリギリのレベルまでたくさんの本を読んでもらい、「辞書を引かずに読書を楽しむ」ことを経験してもらいます。帰国生には、今まで読んだことの無い児童書・YAの原書を勧めます。

大学の場合

高良則子 沖縄県立芸術大学教授

大学1年生の必修英語の一部に多読を導入する場合がありますが、初回の授業では、共通教科書のリーディングで行う精読と英語図書を使用して行う多読の違いを丁寧に説明するようにしています。そして代表的なGRやLRを紹介した後、学生には、多読本を手にとってもらい精読用のテキストとの違いを確認させます。読み始める際には、最初はできるだけ同じシリーズを読み進めるように指導しています。また初回には、YL1程度の簡単な物語を使って、多読前の読書スピードを計測させています。学生の本選をサポートする際には、それぞれの読書スピードも参考になります。

大学の場合

藤井数馬 長岡技術科学大学准教授、元・沼津高専准教授

私が初回の授業で大切にしていることは、学生に「よし、読もう」という気持ちにさせて、多読の入口まで導くことです。そのために具体的に行っていることは、「なぜ多読が英語力向上のために必要で、多読をすることでどんな効果があるのか」について説明すること、学生に適した難易度や題材の多読図書をいくつか紹介して、実際にORTなど簡単な本を1冊読み聞かせることです。大学生の場合、多読の必要性を感じなければ身を入れて読もうとはしません。多読の効果を紹介しつつ体験させて、次回から自らの意思で選書、多読ができるように心がけています。

大学の場合

高瀬敦子、関西学院大学非常勤講師、元・近畿大学特任講師

多読未経験者が多いため、初回授業で入念なオリエンテーションを行います。① 精読と多読の違いを説明し、多読の必要性を説く。② 英語の運用能力を向上させ言語習得するには、流暢さが必要不可欠であることを例で示す。③ 流暢さ向上には多読・多聴が一番効果的であることを説明。④ 多読クラスと多読なしクラスの英語力向上の違いをグラフで示す。⑤ 効果的な多読法と効果なしの読書法を紹介。⑥ 以上の内容をまとめた説明書を配布し、自宅で復習させる。⑦ 学生の英語力を図るテストを行う。⑧ 平易な本で多読経験をさせる。⑨ 読書記録手帳記入法説明。⑩ 最後に辞書なしで楽に読める図書を貸し出します。

大学の場合

国重徹 鹿屋体育大学教授、元・徳山高専教授

本学には多読未経験、英語が苦手と嫌いという学生がたくさん入学してきます。従って、初回の授業では英語に対する抵抗感を取り除くことに主眼を置きます。多読の方法を説明した後、Oxford Reading Tree: Stage 3～8やBuilding Blocks Library: Level 4～7などのやさしい本や、*A Kiss Like This* (Mary Murphy) などのかわいい絵本を約20分読んでもらいます。その際、理解を助ける方法として、絵にも注目することを伝えます。最後にやさしい本を1人3～5冊貸し出し、次回の授業までに読んで記録用紙に記録してくるよう指示を出して終わります。

大学の場合

神田みなみ 千葉県立保健医療大学教授

英語多読とは何か、その意義をガイダンスとして説明するとともに、目標設定と現状把握をします。まずは到達目標レベルの本（高めと低め）を紹介し、実際に読む時間をとります。その本を後日読む時に、学生自身に伸びを感じてもらうためです。学期中の英語多読のもう一つの目標は続けて一冊の本を読み続ける時間を伸ばすこと。10分読み続けることがどういうことかも最初の授業で試し、感想を記録します。また、成績を心配する学生が「すべり読み」「妄想読み」しがちで、英語基礎力があるかどうか、最初の授業で語彙力や英語習熟度のテストを実施しています。

大学の場合

黛道子 日本保健医療大学教授

大学生なら「このくらいは読めるはず」という前提で授業を始めるのは危険です。様子を見てレベルを上げることもできるので、まずはORTのようなごくやさしい本から始めるのが安全です。そしてやさしい本をたくさん読むと、読むのが速くなる、訳さなくてもわかる、リスニング力が上がるなど、そのメリットを強調します。この時に過去の学生など、できるだけ身近な人の具体例をあげるのが有効です。「自分も英語力を伸ばせるかも」という夢が広がったところで、ORTを数冊読んでもらい、「これならできる！」となったところから多読授業をスタートします。

社会人の場合

逸見一志 ステップワールド・英語専門スクール代表

社会人の場合は英語学習履歴、多読歴、英語力など生徒さんによって大きな差がありますので、初回授業ではまずこれらの情報をいただくことから始まります。次に本の紹介です。Graded Readersと子供向けの本があることや、子供向けの本にはLeveled Readersと児童書の2種類があることなどを説明します。多読が初めてで自分で選書できない生徒さんには、選書リストを作成し指導者が選書します。多読3原則を説明したうえ、多読は勉強ではなく娯楽の一部であり、「そこそこ楽しい」という感覚を持ち続けられることが大切、とアドバイスしています。

多読についてのよくある質問

多読について多く寄せられる質問に回答します。環境・対象生徒によって、いろいろな「正解」があり得ますが、一つの「正解」として、多読指導の参考にしてください。

「多読する」とは？

「多読する」とは学習者個人個人が、各自のレベル・好みにあった（人によって異なる）英語の本を、原則として辞書を引かず、訳さないで、楽しむことを目的として読むことをいいます。

教師の役割は？

生徒が「多読する」ことを見守り、励まし、各自にアドバイスすることにより、(1) より高い理解度で多読できるようにする (2) 多読できる本のレベルを上げていく (3) 多読を通じて、聴く、書く、話す技能も向上させることです。生徒の英語力、読書の好み、英語学習の目的を総合的に判断し、どんな本を勧めるかが重要です。

多読の目標と実績は？

学習者が気楽に読めるレベルの英語の本から始めて、徐々にレベルを上げて、長編小説の原作や、英語の文献を読めるようにするのが目的です。ORTのような非常に簡単な絵本から始めて、4年程度で5万語を越す児童書が読めるようになる中学生や、CER2程度から始めて1年程度で専門書が読めるようになる高校生・大学生の例がありますが、そこまで伸びるのには、もっと時間のかかることの方が多いです。ですので、全員の生徒が達成可能な控えめで確実な目標を立てて、一方、それを大きく上回る生徒も育てるとするのが良いでしょう。

YL (読みやすさレベル) とは？

主要な GR(Graded Readers) は、7段階にレベル分けされていますが、出版社ごとにレベル付けの基準が異なります。そこで、各 GR を比較して、統一的に「同じレベル」に数値化したものが読みやすさレベル (YL) です。native の子供向けの LR や一般書については、「GR だと理解度 9 割で読める」学習者が「理解度 8 割で読める」レベルとして、1冊ずつ決めています。学習者によって、感じ方に幅があるので、幅を持たせている場合もあります。特に、LR や一般書については、幅が広がる傾向があります。

YL を利用した指導とは？

多読学会では、多読指導においてゆっくりとレベルを上げていくことを推奨しています。特に、多読指導初期において、GR だけ、LR だけでは、同一レベルの本が量的に足りないので、GR に加えて、同一の YL の LR、児童書を利用した多読指導を推奨しています。なお、主なシリーズの YL については、17 ページをご参照ください。

読書記録の方法と意義・役割は？

個人によって、読める本のレベル、本の好み、読書経験 (= 総読書量) が異なります。生徒に、本を読むたびに、(1) 読んだ本の題名 (2) シリーズ名 (3) YL (4) 読んだ本の語数 (5) 読んだ総冊数・総語数 (6) 読んだ本の評価 (7) 感想 を記録してもらうことで、指導者は、生徒の読書経験、読めそうなレベル、読書傾向を把握でき、適切な本を生徒に勧めることが可能になります。なお、SSS 英語多読研究会が専用の読書記録手帳を作成し、コスモピア社、ネリーズ社から販売しています。

どんな教材を使えば良いの？

LR (英語話者の子供向けの段階別読み物) だと、Oxford Reading Tree (Stage 1-4) , I Can Read, Ready-to-Read シリーズなどを導入に使う人が多いです。GR だと、Foundations Reading Library, Building Blocks Library のような多読導入用の GR に加え、Pearson English/Active Readers, Oxford Bookworms/Dominoes, Cambridge English Readers, Macmillan Readers, Scholastic ELT Readers の Starter を導入に使う人が多いです。

何歳から始めるのが良いの？

自分で本を読むという意味の多読はいつからでも始めることができますが、一定程度読めるようになるまでは、「最低限の文法や語彙」を何らかの方法で身につけてもらう必要があります。児童であれば、多読の前に十分な「読み聞かせ」をして、自然に語彙や文法が入るようにするのが良いでしょう。中学校以上で始める場合、「最低限の文法や語彙」が入ってから、多読を始める方が、効率的に指導できます。「最低限の文法や語彙」がまだ入っていない段階で多読を導入する場合には、生徒の理解を確認しながら読み聞かせをする、あるいは、一斉読みで文法や語彙を解説しながら本を読む「精読的な多読」を併用するのがお勧めです。

英検レベルと読むレベル

英検 1 級で YL4-6、準 1 級で YL1.5-4.5、2 級で YL1.0-2.5、準 2 級で YL0.5-1.0、3 級以下で、YL0.1-

0.5位が妥当です。小学生の場合は、英検レベルよりさらに易しい本をたくさん読んでもらう方が、後々しっかり伸びていきます。

レベルを上げることにこだわらず、レベルの高い本が読めるようになって、レベルの高い本とレベルの低い本を両方読むのも無理なく多読が続く良い方法です。

多読と多聴、どちらから始めればよいの？

多読と多聴を切り離す意味はありません。日本語で文字が読める年齢なら、最初から、聴きながら文章を読むのが一番良いと思います。多くの音源付き本があるので、それを利用するのが良いでしょう。経済的な理由で、音源を揃えるのが難しい場合には、多読を先行させて問題ありません。

多読の効果がでるまでの期間・読書量は？

高校生以上では、効果が上がる多読量は、年間20～30万語程度からと実感している多読指導者が多いです。生徒が効果を実感する（知らない間に英語で物語を楽しんでいる）のも、20～30万語程度の読書量であることが多いです。幼児～中学生の場合、多読以外の要素が大きいため、多読の効果というものをはっきり測定できませんが、それほど量を読まなくても効果を感じる指導者が多いようです。

どの位で直読直解で読めるようになるの？

辞書を全く引かないで分かるような簡単な英語で書かれた本を100冊位（5万語程度）読むと日本語に訳さないでも読めるようになります。20万語から30万語位から「自然に英語のまま読んでいた」という人が多いです。

ただ、読めばいいの？

基本的には、ただ読んで、内容を楽しむだけで十分です。ただし、英語について全く知識の無い生徒が対象の場合、並行して、文法や語彙を教える必要があります。巻末や本の中に問題がついているシリーズもありますが、多読という意味ではやる必要はありません。ただし、どの位の理解度で読んでいるのかを指導者が調べたい場合には、付属している問題を利用するのは良い方法です。

GRとLRってなんですか？その違いは？

英語を母語としない英語学習者向けに、語彙・文法をレベル別に制限した、「英語学習者用段階別読物」がGraded Readers（略称・GR）です。児童向けの英語初心者用の物から英語上級者用のものまでが、語学専門の出版社から出版されています。一方、英語圏の国でも、子供の読書を推進するため、英語母語話者の児童を対象とする「英語母語話者向け段階別読物」が多数出版され

ています。それを、多読学会では、Leveled Readers（略称・LR）と読んでいます。LRは、2・3歳向けのものから、中学生対象のものまで様々出版されています。LRは現地の子供向けのため、生の英語表現が多く、文法や語彙の制限がGRほど厳密ではありません。しかし、500語以下の短い本がGRに比べて多いので、多読初期には、GRだけでなくLRも利用する方が幅広い本を利用できるメリットがあります。なお、LRでは、ORT（Oxford Reading Tree）のStage 1～9のKipperシリーズが多読の導入に最も使われています。

どうい本を読むの？

各生徒が、「易しすぎる」と思うくらいのレベルの本から始めます。易しいLR、GRのシリーズからはじめて、GRを主に、易しい児童書（YL 1.0-3.5）も併用して行きます。

日本語の英訳マンガも使えますか？

「One Piece」、「進撃の巨人」など、日本を代表するマンガのほとんどは英訳されています。マンガは読みやすいので、多読の教材にも使えますが、マンガの英語表現は、YL3.0-3.5程度のもので多いです。読みやすいとはいえ、そのレベルのGRや児童書が読めるようになってからでないと、マンガを読んでも、絵を追うだけになってしまいます。また、元の日本語のセリフと英訳のセリフが両方のっているバイリンガルマンガは、どうしても、日本語のセリフが目に入って来てしまうので、多読用の教材としては不適切です。気分転換用の利用だけにするのが良いです。

英語力を上げるコツってあるの？

漠然と読むのではなく、

- (1) 自分の力にあった適切な（＝易しい）レベルの本を読む
- (2) 語彙を定着させたいなら、GRの巻末にあるGlossaryを利用して、読んだ本に出てきた語彙を復習する
- (3) 分からない部分は何回か読み、イラストも見て、前後の関係から納得できるまで理解して読む
- (4) 代名詞を、「それ」、「彼女」と理解するのではなく、代名詞が具体的に指しているものを思い浮かべながら読む
- (5) 英語では、繰り返しを避けるために、違う言葉を使ったり、省略することが多いので、そういう部分を読むとき、「どの語の言い換え」、「どの語が省略」ということを意識して読むように意識して読むと、着実に読む力も、総合的な英語力も上がります。

レベルを上げるタイミング、コツは？

同じレベル・シリーズの本に飽きてきた時が、レベルを上げるタイミングです。易しい本を高い理解度で読むことが多読の基本ですが、そうはいつても、易しい本に飽きて多読自体がつまらなくなるとは元も子もありません。レベルを上げる時、一気にすべての本のレベルを上げるのではなく、最初は、「(1) 渡す本のうち、1/3 程度のレベルを上げ、2/3 は、元のレベルの本を渡し」、レベル上げた本に慣れてきたことが確認（本の内容を質問して、十分に分かっていることを確認してください）できたら、「(2) 渡す本のうち、2/3 程度をレベルの高い本にし、1/3 は、易しいレベルの本にする」という具合にレベルをミックスしながらレベルを上げていくのがコツです。もし、レベル上げた本を十分理解していないようであれば、「(3) 元のレベルに下げる」のが良いです。また、生徒のプライドも考えて、(1) の配本状態を数ヶ月続けるようにするのも良いです。

多読を長く続けるコツってあるの？

「レベルを上げることにこだわらない」、「特定のジャンルやシリーズにこだわらない」ことです。疲れているときは、易しい絵本で癒されるのもよいし、難しい本ばかり読んでいたと思ったら、レベルを下げた本を勧めましょう。特定シリーズの本に飽きてきたら、別のタイプの本に切り換えましょう。

自学でもできるもの？

基本、「英語での読書」なので、指導を受けなくても、自学可能です。しかし、実際には、自学での成功率（＝最終的に長編小説が読めるレベルに達する）は5%程度と極めて低いです。というのは、自学だと、強い意志がないと継続できないからです。決まった場所で、決まった時間に、感想を共有できる仲間と指導者のいる環境は大事です。

黙読・音読どちらがいいの？（小学生～中学生）

小学生～中学生の多読初期では、音読や、朗読 CD を聞きながらマンブリング（小さい声で CD の音を真似て発声）するのが適切です。まだ、英語の文法・語彙が十分でないので、1 回さらりと読むだけでなく、1 回目は CD を聞きながら、イラストも楽しむ、2 回目は CD にあわせてパラレル・リーディング、3 回目は、綴りにも注意をしながら CD 無しで、自力で音読、4 回目は、本を閉じてシャドーイングなど、数回同じ本を連続して読むのが良いでしょう。10 回以上読ませたところ定着が上がったという報告もあります。この時期に読む本は、1 冊 1～2 分程度で読めてしまう短い本が多いので、繰り返

返し読むことでゆっくり多読を進められるというメリットもあります。

黙読・音読どちらがいいの？（高校生～社会人）

すでに、一定程度、語彙・文法がはいつている高校生以上の場合、あるいは、小中学生でも、すでに、多読の経験も英語学習の経験も十分で、語彙・文法がそれなりに身につけている場合には、原則黙読あるいは、CD の音声を聞きながら黙読で良いでしょう。読書速度が遅い生徒や、どうしても日本語に訳しがちな生徒には、朗読 CD を聞きながら読むことで、速さを引き上げる効果や、日本語に訳さず直読直解を助ける効果があります。

CD 読みから卒業するのはいつ？

CD を聞きながら読むことで、自動的に発音が分かるので、多読初期には CD 読み（CD を聞きながら読むこと）がお勧めです（デジタル図書のストリーミングも同様です）。だんだんと多読が進み、生徒の英語を理解する速度が速くなってくると、CD の音声は自分の理解する速度より遅くなってきてかえって、生徒のストレスになってきます。そうなってきたら、CD 読みから自力読みに移行していきましょう。なお、自力読みができるようになっても、早めの朗読 CD の本も読み続けることで、さらにリスニング力を鍛えることができます。また、子供用の GR の中には、朗読が非常に遅いもの（特に Oxford 社のもの）があります。これらを利用する場合には、再生速度が可変なポータブル CD プレーヤー（たとえば、東芝エルイートレーディング社の製品）が便利です。

参考になる図書、ホームページは？

読書の記録は、Excel を利用してもよいし、普通のノートに書いてもよいのですが、高校生・大学生・社会人向けに「読書記録手帳」（コスモピア）が出版されています。児童教室や中高生向けには、「児童読書記録手帳」や「教室用読書記録手帳」（ネリーズ）が出版されています。

「多聴多読マガジン」（コスモピア）は、多読する社会人のための隔月刊誌です。「英語多読完全ブックガイド」（コスモピア）は、多読用図書紹介のブックガイドです。

YL や語数については、<http://seg.co.jp/ss/yl/> や、<https://sites.google.com/site/erfgrlist/> などのサイトがあります。

多読している社会人のためのメルマガ「SSS 英語多読通信」が SSS 英語多読学習法研究会から月 1 回発行されています。日本多読学会のホームページ (<https://jera.tadoku.jp/>) には、研究報告や研究集会の案内があります。

（古川昭夫）

Message 1

小柳 典子 (英語スクールリーチアウト)

英語スクールリーチアウトを2000年に開校。城南静岡中学・高等学校非常勤講師。

2012年に多読に出会い、大変な衝撃を受けたことを鮮明に覚えています。当時ちょうど英語指導に悩みを抱えていた時期でした。大量に英語を英語で読み、日本語に訳さない、つまらない本は読まなくてよい、辞書を引かないという3つのルールにショックを受けました。授業を拝見したSEGの生徒さんたちが、相当なレベルの本を大量に読んでいる様子にも驚きました。自分の抱えていた悩みが一気に消えるような出会いでした。そして、早速自分のスクールで取り入れることとしました。最初の2年は失敗の方が多かったように思います。諸先生方の指導法を参考にさせていただきながら、7年目を迎えてどうやら形が整い、さらにスクール生への効果も明らかに見えてくるようになりました。

多読の導入には、まず資金面の問題が大きく立ちほだかります。元々自分が持っていた本をかき集めても到底足りず、どうにか5万円分の図書を購入し、更になんとか月々2万円の予算を捻出し、本を買い揃えていくこととしました。そのため最初の1年はちゃんとした多読授業が行えず、授業の前後30分の自習多読となっていました。それでも1年経ってみるとある程度の図書が揃うようになり、正式に多読授業を翌年度の初めから行うことになりました。月の予算を3万円に増やし、細々とですが蔵書を増やしてきました。さらに卒業生や保護者、海外の友人などから本の寄付もいただきました。このように、当初は若干の苦労があったものの、多読授業を進めていくうちに、生徒の英語力の伸びが顕著に表れるようになり、更にそれが口コミで広がり、多読導入当初は200名ほどの生徒数だったものが、現在は500名を超えるまでになりました。多読はスクール生の英語力向上の起爆剤になりましたが、経営にとっても大変プラスに作用してくれています。

我々のような英語スクールは、英語教育改革によって、近年大きな追い風を受けていますが、それでも順調に経営していくのは大変なことです。多読図書購入に踏み切れず、悩んでいらっしゃる塾経営者の方もいらっしゃるかと存じますが、思い切って導入なさってみることをお勧めします。よく「多読貧乏」という言葉を耳にします。有難いことに、当初は私も多読貧乏を覚悟しましたが、2年目以降はきちんと経費で落とせるようになり、多読が利益をもたらしてくれているのです。生徒も経営側も両方が得をする、それが多読だと思います。

Message 2

高瀬 敦子 (関西学院大学総合政策(非)、岩野英語塾)

1989年より2高校・6大学・大学院・英語塾(小学生・社会人)にて多読・多聴指導。日本多読学会・国際多読教育学会理事。著書「英語多読・多聴指導マニュアル」。

小学生の多読・多聴方法としては、まず多聴に重点を置いた指導をします。小学生は耳が発達段階にあるので、耳からのインプットを大量に行い、英語のリズムを掴ませて英語に慣れさせるのが効果的です。英語のリズムを掴めば、英文を読む時も自然なリズムで読めるようになります。歌を聞いて一緒に歌ったり、本の読み聞かせを行ったりします。歌を聞きながら聞こえた単語を言わせたり、読み聞かせの途中で内容に関する質問をしたりすると、集中して真剣に聴くので耳が鋭くなります。多読導入時には、多聴と並行して、最初に字のない絵本でストーリーを読み取る練習もさせます。

実際に読書始める前には、ある程度語彙を増やしておく方が、スムーズに読み始めることができます。音声と文字を結び付けて語彙を増やすには、生徒制作フラッシュカードが大いに功を奏します。まず、指導者が基本単語のスペルを白紙のカードに書き、生徒は宿題として表に自由に絵を描いてきます。自由な絵には、既製のカードにないメリットが多々あります。まず自分で描いたものは絶対に覚えますし、様々な絵が出来るので、それを利用して、サイズ・色・数などの語彙も導入できます。教室では絵を見せたり字を見せたりして単語を発音させると、生徒は自然と単語を覚え、読めるようになります。毎回10個ずつ単語を増やしていけば1年間で約500の単語を覚えて読めるようになります。更にWord Search Puzzles, Three Letter Word Cards, Crossword Puzzles等を使い、語彙を増やしていきます。

3、4か月して、読めるようになったら、Scholastic社の様々なSight Word SeriesやORT 1, 1+, 2などで多読を開始します。CDや音声ペンがあれば自宅でも多読・多聴を行い、授業では1冊選んで音読させ、理解して読んでいるかどうか時々質問を入れます。

多読・多聴が2年目になるとExtensive Listening(多聴)とIntensive Listening(精聴)を同時進行で行い、多聴・多読をさらに進めます。まず、CDで話を聞かせて全体の内容把握をさせ、次に間違いを入れた文章を見せて音声と違う単語探しを行うと耳が鋭くなります。更に同じストーリーでPartial dictationを行い、再度の内容把握やスペルチェックを行い、シャドーイングで仕上げをします。また、Kids Classic Talesには、本の最後に劇のスク립トがついているので、これを使ってミニ劇をするのもモチベーションが上がります。

多読2年間で300-400冊読むので、3年目に少しずつ文法学習を始めると比較的楽に文法を習得できます。

Message 3

諸木 宏子 (A&A ENGLISH HOUSE)

2011～2018年度まで西大和学園中学校にて非常勤講師として多読を指導。自営の英語教室でも小中高生に20年以上、多読を指導。CLIL、小学校英語の著書あり。

西大和学園中学校では2010年度から、英語読解力の向上を目的として、中2と中3の英語の授業6時限のうち1時限(50分)×年間約30回を多読にあてました。初年度は英語科教員が指導に当たりましたが、思うように授業が進まず、「多読専門の講師を」という要望があり、私が授業を引き受けることになりました。私は、多読図書を選択と更なる購入をし、LL教室が無い場合、ポータブルCDプレーヤーを購入して、多聴も出来るように整備しました。幸い、私立校であり、熱心な管理職の理解を得て、予算はかなり潤沢でした。多読手帳も1人1冊購入し、学校側でまとめて保管。貸し出し図書の記録はプリントに書き込み、後で手帳に転記してもらいました。

西大和学園中学校は、1クラスの人数が大体45名程度です。この人数で一斉に多読を行うには、興味を持たせる工夫が不可欠です。授業の最初に季節の行事(Halloween, Christmasなど)の絵本を読み聞かせたり、新しいシリーズの絵本を紹介したりしました。これは毎年、全学年で好評でした。多聴(聞き読み)はクラスを半分に分けて、前半・後半で1人各1～2冊を読む、入れ替え制にしました。多読図書は5000冊以上を用意しましたが、どれでも好きに読ませるわけではありません。生徒の読書レベルに応じて、指導者が本を図書館(で授業を実施)の大型の机の上に、シリーズごと、レベルごとに、表紙を見せるように並べて置いていきます。生徒は自分の読んでいる本のレベルの机に移動していくのです。さながら、牧草地を移動していく羊たちのようです。ひとつのシリーズ、ひとつのレベルをあらかじめ読み終わると、次に移って新たな本を読み始めます。この時も、LR、GR、絵本、フィクション系、ノンフィクション系と取りそらえて、生徒の興味がわく本を読めるようにします。辞書は使いませんが、解らないことは静かに手を上げて質問OKとしています。指導者はすぐに意味を教えるのではなく、絵や前後の文脈から類推させ、生徒の口から答えが出るように導きます。

進学校ならではの悩みもあり、生徒間の競争意識が高く、すべり読みをする生徒が出現することもありました。多読は語数競争では無いこと、自分のペースで読むことを、何度も生徒に意識付けしました。現在も、中学2年間だけ多読に取り組んでいますが、高校でも授業内多読を続けてもらいたいという私の願いは、両親の介護のため、やむを得ず退職した今も、変わりません。

Message 4

鬼丸 晴美 (高槻中学・高等学校)

2019年3月まで、明星中学・高校で、図書館の運営、多読指導を推進。2019年4月より、高槻中学・高校で、図書館の運営、多読プログラムの作成、多読指導。

‘Developing Future Leaders with A Global Mindset’をスクールミッションに制定し、その実現のために高槻中学校・高等学校ではCEFRレベル分けされた書籍、Lexileレベル分けされたe-bookによる多読読書活動を推進しています。

Cambridge・Oxford・Pearson・Macmillan・mpi・National Geographic・Tryalogue Education各社のGR及び各社のペーパーバック、Very Short Introductions (Oxford)、医薬関係の洋書を図書館に所蔵し、中学1年生から洋書を自由に借りることができます。中学各学年で実施している多読は卓越した語学力とグローバルマインドセット、国際的視野を養うための基礎部分の一助を書物の力で担い、将来、積極的に専門書に向き合えるように多読に取り組んでいます。

中1

自立した学習者育成のために図書館にて徹底した図書館利用指導・読書指導・多読指導をしています。「図書館利用ガイド巻頭言」日本語(約800字)と英語(約300語)のシマウマ読みによる音読から授業スタートです。英語授業の一環として実施です。4月の段階で英和辞典の使用方法を学び、英和辞典を利用しながら、基本的に100語未満の読みたい本を各自が選び、多読を始めました。夏休みに速読力を増幅するためにmpi社TAGAKI(各自のレベル別)の5周とeBookに挑戦しました。その成果は2学期の多読で300語以上の本に手が伸び達成感を味わっています。選書に関して相談をしながら個別指導が始まり、GRへ歩みを進めています。家庭学習として十分な音声情報獲得のためにScholastic Bookflix(260冊収納)を採用して多聴・多読をしています。

中2

Scholastic literacy pro-library(1300冊収納)による多聴・多読の家庭学習をしています。紙ベース(ORT・FRL・ORD等)による多読を、朝読書時間週1回確保して各クラスで行っています。

中3

Scholastic literacy pro-library(1300冊収納)・Scholastic Bookflix(260冊収納)による多聴・多読授業を週1時間英語授業として実施しています。

Message 5

栗下 典子 (郡上高等学校、元・郡上市立八幡中)

公立学校の英語授業でインプットの少なさを実感し、2014年度から中学校において多読授業を開始。多読を活かした授業や評価の在り方を研究。

中学校で多読を開始した理由は、英語授業での圧倒的なインプット量不足のためです。公立中学校では文科省の学習指導要領に従い、コミュニケーション力を養成するための研究授業がさかんに行われていますが、どの授業においてもいかに話させるか、書かせるかのアウトプット中心で、読むなどのインプットの重要性は軽視されているように感じます。その結果、コミュニケーション活動を行っているにも関わらずコミュニケーション力が伸びない実態があります。多読開始当初は学校内で協力者はおらず、多読教材も自費で用意しなければなりません。また、英語の授業時間の一部を多読に充てることにしましたが、多読教材が検定教科書ではないことから反対する先生方が多かったです。しかし、多読を実践していくうちに生徒たちが週1時間の多読の時間を楽しみに待つようになっていき、多読に関連付けた、話す、書くなどの活動を行うと、多読量と読解力やスピーキングテストの得点に相関性が現れ始めました。このように、多読が英語授業の一部として定着していきました。

中学生の多読指導でもっとも注意している点は、2つあります。まずは、「強要しない」ことです。授業時間を充てているため、当然生徒は読まなければいけないのですが、読めない生徒には読み聞かせをしたり、グループで一冊の本を読み、その理解度を寸劇などにして確認させたりして楽しみながら読書をさせるようにしています。

次に、多読と教科書を使用する通常授業や試験内容との関連づけです。多読で日本語に「訳さない」と指導しているにも関わらず、「訳す」精読を徹底してしまうと生徒はどのように英語を勉強したらよいかわからず、混乱してしまいます。しかも、英語2343「業のイチブ」一部としての多読は、定期試験などでその評価が総合的に決定されてしまうため、「訳す」ことが重視される試験を課すと、生徒は多読の意義が理解できず、多読離れを引き起こします。中学校のような英語学習の初期段階で多読を成功させるには、通常授業の授業法と学習評価内容を多読法と一貫させることが不可欠です。

私の実践では、公立高校の入試直前まで多読をブックトークなどの事後活動と共に行いました。その結果、近隣の公立中学校とディクテーションテストの結果を比較すると、統計的な有意差が現れるまで英語力が伸びました。そして何よりも、受験のプレッシャーに押しつぶされることなく多読を中心とした英語学習を楽しんでいる生徒の姿が多く見うけられました。

Message 6

宮本 恵理子 (桐蔭学園高等学校)

神奈川の公立高校で2007年から多読指導を始める。2017年からは桐蔭学園高等学校で多読指導を開始し、同校の多読プログラムを担当。

本校は、新しい進学校を目指しており、授業は知識を詰め込むだけのものではなく、「自ら考え、判断する」生徒を育成するアクティブラーニング型授業を基本としています。英語授業も以前は、訳読、文法解説などの講義型授業が中心でしたが、現在は「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業が行われています。多読はその流れとともに導入されました。多読では、生徒は今まで習った語彙、文法、構文など、すべての英語の知識を総動員して、「自ら考え、判断」し、自分で英語の本を読んでいきます。先生に文法の説明を受け、訳を教えてもらって理解するものではありません。

多読授業を立ち上げるにあたって一番苦労したのは多読用図書でした。図書館には1冊も多読用図書がありませんでした。予算の獲得、語数シールなどを貼る図書整備などに半年以上かかりました。次に、苦労したことは、多読指導経験のない先生方にどうやって多読指導してもらおうかでした。また、クラス数と先生の数の多さも問題でした。初年度は27クラス、生徒数1230人、教員は非常勤も含め15人。まずは、半年前に多読研究授業を実施し、英語科教員全員に見てもらいました。次に、多読授業指導案を作成し、先生方にはその指導案に基づき授業をしてもらいました。また、私の多読授業を先生方に公開したり、ビデオ録画して英語科教員全員に配信したりしました。このようにして実際の授業で徐々に多読指導に慣れてもらいました。当初「こんなやさしい本を生徒は本当に読むのだろうか。読んで力が付くのか」と多読を疑問視する声を先生方からよく耳にしました。そのような先生方もしばらくすると、「生徒って、あんなやさしい本を本当に読むのね。」と驚いて、「生徒が多読は楽しいって言うんだよ。」と嬉しそうに報告してくださいました。

多読指導で一番重視していることは、多読の楽しさを生徒はもちろんのこと先生方にも経験してもらうことです。また、先生方には授業の不安ができるだけなくなるように、指導案、授業用スライド、注意事項を配信しています。それでもまだ不安だという場合には授業支援に行きます。生徒には「決して難しい本は読まないように。」と何度も言い、先生方にも難しい本は読ませないようにお願いしています。授業では朗読音声を用いた聞き読みを行っています。後ろから前に戻って読むことができないので、英語を前から読む訓練になります。また、決められた冊数の本を図書館から借りて読むことも宿題として課しています。

Message 7

西澤 一 (豊田高専 電気・電子システム工学科)

2003 年度から豊田高専で多読授業を担当、同校の6年継続多読プログラムの実施責任者。著書に、「図書館多読のすすめかた」(日本図書館協会) など。

多読授業導入時は(和訳しない)多読の読み方を理解し、図書購入資金を確保することに苦労しました。私も含め日本人は、英文を訳せれば読めると勘違いし、英文から直接内容を把握する(母国語と同様の)読書スタイルを想像すらできないので、和訳を避けるために、さし絵が豊富で英文も極めて易しい絵本から始める必要性を実感するのに時間がかかりました。また、高専生が無理なく多読を始めるのに必要な易しい英文図書を揃えるには購入資金の確保が必要でした。

多読プログラムを成功させるには、(1)学習者に適した英文レベルに加え、必要な読書量と継続期間を見極め、(2)読書環境を整備し、(3)図書推薦が中心となる指導のスキルアップが必要だと考えます。

必要な読書量と継続期間はプログラムの目標達成によります。小学生なら絵本を10万語読んで英語に慣れることに大きな意義がありますが、多読で高校入試に備えるには数十万語の読書が必要でしょう。中学卒業生を受け入れる豊田高専では、平均的な学生の英語力をTOEIC600点(10ヶ月の英語圏留学相当)まで引き上げたいと考えているので、週に1~2回(各45分)の授業内多読を7年継続させ、授業の内外で学生が平均200万語を読むことが必要だと判断しています。

各学習者に適した本が豊富に揃っていることはもちろんですが、多くの学習者、特に初心者、初級者には授業時間内で定常的な読書時間が確保されていないと、なかなか多読を継続できないようです。たとえば、豊田高専の多読プログラムでは200万語を読むのに必要な330時間のうち160時間を授業時間として確保しています。また、一緒に多読を楽しむ仲間との図書情報や読書体験の交流も継続を支える大きな力になっています。

各学習者に適した本を推薦するためには、指導者自ら多読を体験することが不可欠です。少なくとも、学習者が読む主要な本について感想を交換できないと、図書推薦になりません。英語力の高い指導者ほど、易しい英文の違いを認識できず、絵本の重要性も実感できないものです。その場合は、英語以外の外国語の学習を始め、その言語学習に多読をどのように取り入れるかを自分で実験してみるとよいでしょう。多読指導に、全文朗読音声を用いた聴き読みを取り入れることもお勧めです。途中で休止することなく朗読をペースメーカーとしてテキストを読むと、戻り読みができず構文解析をする時間もないので、早期に英文和訳から卒業できるようです。

Message 8

神田 みなみ (千葉県立保健医療大学)

保健医療職をめざす大学生への多読プログラムを立ち上げ摸索中。共著書『英語多読完全ブックガイド』『教室で読む英語100万語』

今の大学に移り、英語多読環境はゼロからのスタートになりました。まずは、大学生が取り組みやすい英語学習者向けのGRシリーズを基礎~中レベルの定番ものを揃えました。加えて、英語ネイティブの児童や青少年向けのノンフィクションシリーズで学生の専門に近い科学・自然・健康・医療関係。興味深く楽しく読める本でも、英語学習者向けGRと異なり、増版しないことが多く、見つけた時が買い時です。語数を調べるには [Renaissance Accelerated Reader Bookfinder](#) のサイトで調べるか、自分で数えて概数を出しています。

ノンフィクションシリーズの場合、一ページあたりの標準語数を示して、学生には一部だけ読むことも勧められています。物語では無いので、本を眺めて、興味を感じたところだけ読んででもいいと思います。

英語多読は授業内だけでなく、課外でも多読向け図書を読む環境が必要です。授業時間内で(実質)60分程度の英語多読で結構読めますが、週一回だけでは伸びはわずか、さらに休日や欠席で二週間ぶりになると元に戻ってしまいます。課外の英語多読環境として、大学図書館に多読用図書を配架するのが一番だと思います。学生推薦図書で半年ごとに英語多読図書の購入依頼を出していきましました。多読図書は冊数が多くなり大変そうでも、ありがたいことに以前の大学でも今の大学でも、司書の方が多読図書コーナーを作ってくれました。

英語多読授業は教室と大学図書館の両方で行なっています。教室では、複数冊ずつGRシリーズを持ち込み、空いた机の上に広げて学生に選ばせること、オーディオや映像教材を一斉に流すことができます。図書館の利点は書架にある様々な多読シリーズを紹介して課外が多読支援をすることです。

LL 教室やCALL 教室、または一人一人にタブレットやパソコンであれば、学生ごとに多読と音声や動画教材も組み合わせた利用方法も考えられるでしょう。私は、学生のスマートフォンを利用して、オンラインでの朗読音声などを聞いてもらうことがあります。時間を限り、イヤホンで聞くだけを認めて、スマホいじりは禁止です。

まだまだ図書館の英語多読用図書も小規模ですし、英語多読授業は少人数のクラスのみの実施です。学生の多読状況を把握、多読用図書の紹介など、一斉授業と異なり、英語多読授業は20人を超えると結構大変なので、これでちょうどいいような気もしています。

Message 9

山田 崇人 (成蹊大学 法学部)

2004年度、カリキュラム改変に伴い、正規科目として多読授業を成蹊大学に導入。2016年度よりXreadingを用いて多読授業を実施。専門はイギリス文学。

成蹊大学でリーディングの授業を担当し、昔ながらの訳読中心の授業を行いながら、何とかもっと学生主体の、授業中全員が積極的に英語を読むような方法はないものかと模索していた時に多読に出会いました。その頃、成蹊では教養カリキュラムの改変が検討されていました。そこで同僚の何人かに多読を紹介したところ、好評だったので、多読に特化した授業の開設を提案することにしました。このようにして成蹊大学での本格的な多読授業がスタートしました。多読図書を備えた多読専用教室が作られ、図書館にも多読コーナーが設けられ、申し分ない環境を最初から用意できたのは幸いでした。

こうして始まった多読授業では、全員が感動的なまでに集中して読む姿が見られました。また英語を英語のまま理解すること、知らない単語やわからない部分があっても気にせず読み続けることを毎回確認することで、多くの学生が英語の読み方が変わって読むのが楽になり、多読の効果を実感できました。しかし残念だったのはほとんどの学生が授業中にしか読んでいなかったことです。授業外の読書量が増えればもっと効果があるのにと葛藤していたときに出会ったのがXreadingでした。

Xreadingはインターネットに接続されているパソコン、タブレット、スマートフォンがあれば、いつでもどこでも多読を行うことができるWebサービスです。2019年度現在で、主要なgraded readersを含む1000冊近く(総語数にすれば500万語以上)の本が用意されており、使用語彙数400語以下の本だけで30万語、800語以下の本まで含めれば100万語以上読むことができます。読んだ本は自動的に記録されて語数が計算され、リーディングスピードも算出されます。ほとんど全ての本に簡単なクイズが用意されているので、どれくらい理解できたかわかります。大部分の本には速度可変の音声も用意されているので多聴も行えます。クイズの合格点を設定すれば、きちんと読んだ本だけがカウントされるようにすることもできます。教員の管理画面からは、どの本をいつ読んだかも確認することができ、今読んでいるかどうかもわかります。これらのデータを使えば成績評価をより厳密に行えると言えるでしょう。しかし学生に余計なプレッシャーを与えないように気を配らないと多読の楽しさが半減しかねないことも留意すべきです。こうしていつでもどこでも多読という環境を用意したことで、大部分の学生が授業外でもたくさん読んでくれ、狙い通りの成果をあげることができました。

Message 10

逸見 一志 (ステップワールド・英語専門スクール)

運営するスクールにて2005年から多読・多聴を導入。現在約8千冊の多読用図書を所蔵。ブッククラブを運営し、多くの中高生の授業に多読を導入している。

2002年、「月刊・英語教育」(大修館)の紙面で「多読」に出会い、すぐにスクールへの導入を考えました。GRやORTを買い集め自分でも100万語を読んだ後、2005年に社会人対象のブッククラブを立ち上げました。本の購入費は宣伝広告費予算を削ることで捻出し、最初は3000冊くらいの蔵書でのスタートでした。毎月20～30冊ほど追加購入し、2019年現在で約8,000冊になっています。

全ての蔵書をファイルメーカープロというデータベースソフトに登録して管理しています。こうすることで、生徒さん一人ひとりに対して適切な図書リストを簡単に作成することができます。また図書の貸し出しの際も、本のバーコードと連動させることで貸出し作業や管理が楽になります。このデータベースによる図書管理は多読指導に大きく貢献していると思います。

スクールでは中高生の個別学習指導の中で多読を導入しています。個別学習では生徒さん一人ひとりの要望に応じて学習メニューを組んでいるのですが、そこに多読の時間を組み込んでいます。生徒さんに読みたいかどうかを尋ねることはしません。たとえ尋ねても、生徒さんは「多読」がどういうものか知りませんから答えられません。ですから基本的に個別学習クラスではほぼ全ての生徒さんが多読をすることになります。実際にやらせてみたうえで、多読が好きな生徒さんには授業時間内で多読の時間を多く取り、宿題としても多くの本を貸し出します。逆に多読が合わない、好きになれないという生徒さんは多読の時間を少なくしたり、止めさせたりすることもあります。多読が合わない生徒さんの多くは、読書をまるで「夏休みの課題図書」のように、できれば避けたい「宿題・作業」つまり“work”としてとらえていることが多いようです。

多読指導で最も大切なことは「指導者が自ら多読を楽しんでいる」ことです。自分でもできるだけたくさんの蔵書に目を通すことが必要です。生徒さんが読んでいる本が、どんな内容の本で難易度がどの程度なのかがわかっていないと、本について生徒さんと会話をしながら選書アドバイスをすることなどできません。そして、多読の効果を上げるのに大切なのが「理解度」と「量」です。「多読」とは文字通り、たくさん読むことであり、多読本を読んだとしても量が少なければ、それは読書であり「多読」とは言えません。

「多読」と呼べるのは、中高生では1年間の読書量が最低でも20万語位で、それより少ない場合は「多読」の効果は薄いと考えます。

YL (読みやすさレベル) について

非常に易しい本から始めて、少しずつ、だんだんと難しい本にレベルアップして行く、というのが多読学会の推奨する多読指導の基本です。従って、指導を行うには、「どの図書がどの位難しいのか」を指導者が把握する必要があります。

本の難しさの基準としては、

- (1) 本のページ数
- (2) 本の長さ (総単語数、総語数)
- (3) 使用語彙のレベル
- (4) 使用されている文法のレベル
- (5) 一文の長さ

などが挙げられます。語学専門出版社が発行する GR (Graded Readers) では、主に、(2) (3) (4) に従って、レベル分けされています。例えば、代表的な GR の一つ、OBW (Oxford Bookworms Library) では、次の様に 7 段階にレベル分けされています。

Starter (使用語彙レベル 250 総語数 700-2000)

単純現在形、現在進行形、命令形、can、must

Stage 1 (使用語彙レベル 400 総語数 4600-7300)

過去形

Stage 2 (使用語彙レベル 700 総語数 5200-9300)

現在完了形、過去進行形、付加疑問、will

Stage 3 (使用語彙レベル 1000 総語数 7800-12500)

現在完了進行形、使役、関係詞、should、may

Stage 4 (使用語彙レベル 1400 総語数 12500-19500)

過去完了進行形、受動態、仮定法過去

Stage 5 (使用語彙レベル 1800 総語数 22500-31500)

未来進行形、未来完了形、仮定法過去完了

Stage 6 (使用語彙レベル 2500 総語数 26500-33000)

不定詞・動名詞を含む受動態、法助動詞

(https://www.oupjapan.co.jp/sites/default/files/contents/media/bookworms_syllabus.pdf より)

Oxford のリーダーを使うだけなら、このレベル分けは非常に役に立つのですが、

- (a) Starter level でも、最初スラスラ読むのが難しい生徒層が多い
- (b) 各 GR 出版社のレベル分けはしっかりしているが、レベル間のギャップ (OBW なら、Starter から Stage 1 のギャップ) が激しい
- (c) 複数の異なる基準の GR シリーズを統一的に評価す

るためのレベルが欲しい

- (d) 多読の最終的な目的は、英語圏の人たち向けに書かれた原書が読めるようになることなので、英語圏の児童書も積極的に利用したいが、児童書のレベルと GR のレベルを対照したい
- (e) 英語圏の子どもたち向けの段階別読物 LR の易しいものは、大人向け GR のもっとも易しいものよりも易しいので、多読初期に LR を積極的に利用したいという動機で、特定非営利法人 SSS 英語多読研究会が開発し、多読学会も協力しているのが、日本人学習者のための「読みやすさレベル」(Yomiyasusa Level, YL と省略) です。

これは、実際に多読指導をする指導者や、多読をしている人が実際に読んだ実感をもとに、

- (1) レベル分けが丁寧にされている、主要な GR に対して、YL を設定
- (2) その YL を基準に、例えば、YL2.0 の GR なら理解度 9 割で読める (日本人の平均的) 学習者が、理解度 9 割で読める GR は同じく YL2.0 に、理解度 8 割で読める英語母語話者向けの本も同じく YL2.0 にという基準で、新しいシリーズ、新しい本の YL を決定
- (3) 全く新しいシリーズであれば、最初に読んだ指導者あるいは学習者が暫定的に YL を決め、後で、いろいろな人が読んで、YL を修正

というプロセスで決まっています。なお、人によって、難易度の感じ方の差があるので、YL は、2.0-2.2 (2.0 と感じる人も多いが、2.2 と感じる人もそれなりにいるという表示をすることもあります。

各本の公式 YL については、

<https://www.seg.co.jp/sss/YL/>

あるいは、

http://www.seg.co.jp/sss_review/jsp/frm_a_130.jsp で調べることができます。

Amazon.co.jp などでは、アメリカで良く使われている Lexile Level (<https://lexile.com/>) が使われていますが、2020 年 1 月 15 日現在のデータで、

470 *Hurricane Heroes in Texas* (MTH) YL2.6-3.2
480 *Frog and Toad All Year* (ICR) YL1.2-1.6

と YL とは大きな順序の逆転があります。全体の本の長さを考慮していないのが、Lexile Level の決定的な欠点で、YL の方が英語学習者の実感に近いといえるでしょう。

(古川昭夫)

| 主要 Graded Readers 読みやすさレベル一覧表 | | |
|-------------------------------|--|---------------|
| SSS YL | 略称 (語彙レベル)・シリーズ名・レベル | 総語数 |
| 0.3-0.4 | PEK1(200) Pearson English Kids Readers Level 1 | 70-140 |
| 0.3-0.4 | PES1(300) Pearson English Story Readers Level 2 | 70-200 |
| 0.4-0.5 | BBL4(170) Building Blocks Library Level 4 | 210-340 |
| 0.4-0.6 | RPR1-3 Richmond Primary Readers Level 1-3 | 200-500 |
| 0.5 | MGA1/VAH1 Magic Adventures/Vera the Alien Hunter Level 1 | 200-300 |
| 0.5 | BBL5(220) Building Blocks Library Level 5 | 320-390 |
| 0.5 | YER1 Young Eli Readers Level 1 | 340-610 |
| 0.5 | BCE1 Black Cat Earlyread Level 1 | 370-700 |
| 0.6 | PEK2(400) Pearson English Kids Readers Level 2 | 190-270 |
| 0.6 | SCP0(150) Scholastic Popcorn Readers Starter | 170-230 |
| 0.6 | CYL(300-400) Compass Young Learners Classics Level 1 | 260-360 |
| 0.6 | FRL1(75) Foundations Reading Library Level 1 | 500-630 |
| 0.6 | BCE2 Black Cat Earlyread Level 2 | 550-800 |
| 0.6-0.7 | PES2(600) Pearson English Story Readers Level 2 | 370-680 |
| 0.7 | MGA2/VAH2 Magic Adventures/Vera the Alien Hunter Level 2 | 400-500 |
| 0.7 | SCP1(200) Scholastic Popcorn Readers Level 1 | 470-560 |
| 0.7 | OCT1(100) Oxford Classic Tales Level 1 | 520-640 |
| 0.7 | BBL6(320) Building Blocks Library Level 6 | 540-610 |
| 0.7 | FRL2(100) Foundations Reading Library Level 2 | 640-760 |
| 0.7 | YER2 Young Eli Readers Level 2 | 670-860 |
| 0.7-1.1 | RPR4-6 Richmond Primary Readers Level 4-6 | 500-2,400 |
| 0.8 | PEK3(600) Pearson English Kids Readers Level 3 | 190-270 |
| 0.8 | BCE3 Black Cat Earlyread Level 3 | 400-850 |
| 0.8 | SCP2(250) Scholastic Popcorn Readers Level 2 | 470-560 |
| 0.8 | MMR1(300) Macmillan Readers Starter | 540-1,000 |
| 0.8 | ORI1(300) Oxford Read and Imagine Level 1 | 550-620 |
| 0.8 | OCT2(150) Classic Tales Level 2 | 620-840 |
| 0.8 | FRL3(150) Foundations Reading Library Level 3 | 680-910 |
| 0.8 | PER0(200 旧 PGR0) Pearson English Readers Easystarts | 720-1,400 |
| 0.8 | SAD1 School Adventures Level 1 | 1,000-1,200 |
| 0.8-0.9 | OBW0(250) Oxford Bookworms Library Starters | 700-1,700 |
| 0.8-0.9 | PES3(800) Pearson English Story Readers Level 3 | 800-1,700 |
| 0.8-1.2 | PEK4(200-400) Pearson English Kids Readers Level 3-4 | 700-1,200 |
| 0.9 | MGA3/VAH3 Magic Adventures/Vera the Alien Hunter Level 3 | 600-800 |
| 0.9 | YER3 Young Eli Readers Level 3 | 700-1,000 |
| 0.9 | BCE4 Black Cat Earlyread Level 4 | 700-1,200 |
| 0.9 | OCT3(200) Oxford Classic Tales Level 3 | 860-1,200 |
| 0.9 | SCP3(300) Scholastic Popcorn Readers Level 3 | 860-1,100 |
| 0.9 | BBL7(400) Building Blocks Library Level 7 | 820-1,400 |
| 0.9 | ODM0(250) Oxford Dominoes Quick Starters | 920-1,600 |
| 0.9 | FRL4(200) Foundations Reading Library Level 4 | 1,200-1,400 |
| 0.9-1.0 | SCE0(300) Scholastic ELT Readers Starter | 860-2,000 |
| SSS YL | 略称 (語彙レベル)・シリーズ名・レベル | 総語数 |
| 1.0 | ORD1(300) Oxford Reading and Discover Level 1 | 660-710 |
| 1.0 | ORI2(400) Oxford Read and Imagine Level 2 | 690-760 |
| 1.0 | FRL5(250) Foundations Reading Library Level 5 | 1,100-1,700 |
| 1.0 | CER0(250) Cambridge English Readers Starter | 2,000-2,600 |
| 1.0-1.2 | ODM0(250) Oxford Dominoes Starter | 1,600-3,500 |
| 1.0-1.4 | EIR1-4 Express Illustrated Readers Level 1-4 | 1,210-3,100 |
| 1.1 | YER4 Young Eli Readers Level 4 | 810-1,600 |
| 1.0-1.4 | PER1(300 旧 PGR1) Pearson English Readers Level 1 | 700-5,000 |
| 1.1 | WHR1(800) World History Readers Level 1 | 530-700 |
| 1.1-1.2 | FRL6(700-350) Foundations Reading Library Level 6.7 | 2,300-2,900 |
| 1.2 | PEK4(800) Pearson English Kids Readers Level 4 | 960-1,200 |
| 1.2-1.4 | CPT1,2(200,300) Cengage Page Turners Level 1,2 | 3,300-4,600 |
| 1.2-1.8 | HBR1(400) Helbring Readers Level 1 | 1,300-9,200 |
| 1.4 | MMR2(600) Macmillan Readers Beginner Originals | 1,600-3,500 |
| 1.4 | ATM(300) Atama-ii Books | 2,500 |
| 1.4 | CER1(400) Cambridge English Readers Level 1 | 3,400-4,800 |
| 1.4-1.6 | BCG0: Black Cat Green Apples Starters | 1,500-5,200 |
| 1.6 | CDIR1(300) Cambridge Discovery Education Interactive Readers Level 1 | 1,300-1,700 |
| 1.6-2.0 | SCE1(400) Scholastic ELT Readers Level 1 | 1,800-6,000 |
| 1.6-2.2 | MMR2(600) Macmillan Readers Beginner | 4,000-12,000 |
| 1.8-2.0 | BCG1: Black Cat Green Apples Level 1 | 1,500-5,200 |
| 2.0-2.2 | OBW1(400) Oxford Bookworms Library Stage 1 | 4,700-7,300 |
| 2.2-2.4 | PER2(600 旧 PGR2) Pearson English Readers Level 2 | 2,400-11,000 |
| 2.2-2.4 | BCT1 Black Cat Reading and Training Level 1 | 4,000-7,600 |
| 2.6 | OBW2(700) Oxford Bookworms Library Stage 2 | 5,200-9,100 |
| 2.6 | CER2(800) Cambridge English Readers Level 2 | 8,400-10,000 |
| 2.6-2.8 | SCE2(1000) Scholastic ELT Readers Level 2 | 6,300-11,000 |
| 2.8-3.0 | MMR3(1100) Macmillan Readers Elementary | 7,600-16,000 |
| 3.2 | OBW3(1000) Oxford Bookworms Library Stage 3 | 7,800-13,000 |
| 3.2-3.6 | PER3(1200 旧 PGR3) Pearson English Readers Level 3 | 5,100-23,000 |
| 3.2-3.4 | SCE3(1500) Scholastic ELT Readers Level 3 | 8,500-15,000 |
| 3.4-3.6 | MMR4(1400) Macmillan Readers Pre-intermediate | 13,000-22,000 |
| 3.6-3.8 | CER3(1300) Cambridge English Readers Level 3 | 13,000-16,000 |
| 3.6-4.0 | MMR5(1600) Macmillan Readers Intermediate | 9,400-32,000 |
| 3.8-4.2 | OBW4(1400) Oxford Bookworms Library Stage 4 | 13,000-19,000 |
| 4.0-5.0 | PER4(1700 旧 PGR4) Pearson English Readers Level 4 | 12,000-42,000 |
| 4.5-5.0 | CER4(1900) Cambridge English Readers Level 4 | 17,000-22,000 |
| 4.5-5.0 | OBW5(1800) Oxford Bookworms Library Stage 5 | 18,000-25,000 |
| 4.5-5.5 | MMR6(2200) Macmillan Readers Upper-intermediate | 12,000-35,000 |
| 5.0-6.0 | PER5(2300 旧 PGR5) Pearson English Readers Level 5 | 14,000-46,000 |
| 5.5-6.0 | CER5(2800) Cambridge English Readers Level 5 | 17,000-39,000 |
| 5.5-6.0 | OBW6(2500) Oxford Bookworms Library Stage 6 | 21,000-33,000 |
| 6.0-6.5 | CER6(3800) Cambridge English Readers Level 6 | 26,000-30,000 |
| 6.0-7.0 | PER6(3000 旧 PGR6) Pearson English Readers Level 6 | 22,000-39,000 |

| 主要児童書・児童学習書・一般書読みやすさレベル一覧表 | | | |
|----------------------------|---|----------------|-----------------------|
| SSS YL | 略称 (語彙レベル)・シリーズ名・レベル | 総語数 | 備考 |
| 0.0-0.2 | ORT1,1+ Oxford Reading Tree Stage 1,1+ | 0-40 | 文字なしは、0.0 |
| 0.1-0.6 | SCR1 Scholastic Readers Level 1 | 30-470 | |
| 0.1-2.0 | MSC1 Macmillan Springboard Connect Level 1-30 | 16-1,000 | |
| 0.2-0.3 | ORT2 Oxford Reading Tree Stage 2 | 20-70 | |
| 0.2-0.3 | SIR1 Step into Reading Step 1 | 50-150 | |
| 0.2-0.6 | RTR0 Ready-to-Read Pre-Level 1 | 30-100 | |
| 0.3-0.4 | ORT3 Oxford Reading Tree Stage 3 | 70-80 | 大人はここから |
| 0.3-0.4 | CTP1 Creative Teaching Press Learn to Read Level 1 | 20-100 | |
| 0.3-0.6 | ICR0 My First I Can Read! | 80-130 | |
| 0.3-0.9 | UFR1-4 Usborne First Reading Level 1-4 | 150-600 | |
| 0.3-2.6 | CPR1-7 Compass Readers Level 1-7 | 70-2,200 | (200語レベルから2500語レベルまで) |
| 0.4 | PEK1(旧 PGK1) Pearson English Kids Readers Level 1 | 80-130 | (200 語レベルの子供向け GR) |
| 0.4 | An Elephant and Piggie Series | 170-260 | |
| 0.4-0.6 | PGY1 Penguin/Puffin Young Readers Level 1 | 80-700 | 旧 AARO-1, 旧 PER0-1 |
| 0.4-0.5 | ORT4 Oxford Reading Tree Stage 4 | 100-200 | |
| 0.4-0.6 | CTP2 Creative Teaching Press Learn to Read Level 2 | 80-250 | |
| 0.4-0.7 | RTR1 Ready-to-Read Level 1 | 200-600 | |
| 0.4-0.8 | SIR2 Step into Reading Step 2 | 250-350 | |
| 0.5 | ORT5 Oxford Reading Tree Stage 5 | 300-350 | |
| 0.5-0.7 | Curious George (新作) | 340-700 | |
| 0.5-0.9 | SCR2 Scholastic Readers Level 2 | 250-500 | |
| 0.5-1.2 | ICR1 I Can Read! Level 1 | 100-1,600 | Little Bear は難 |
| 0.6 | PEK2(旧 PGK2) Pearson English Kids Readers Level 2 | 190-270 | (400 語レベルの子供向け GR) |
| 0.6-0.7 | ORT6 Oxford Reading Tree Stage 6 | 450-700 | |
| 0.6-0.8 | OCT1 Oxford Classic Tales Level 1 | 430-830 | (100 語レベル) |
| 0.6-0.9 | Clifford the Big Red Dog | 300-400 | 正方形に近い大型絵本 |
| 0.6-1.2 | RTR2 Ready-to-Read Level 2 | 500-900 | |
| 0.6-2.0 | SIR3 Step into Reading Step 3 | 500-1,500 | YLの幅が広いので要注意 |
| 0.7-0.8 | ORT7 Oxford Reading Tree Stage 7 | 900-1,000 | |
| 0.7-0.8 | OCT2 Oxford Classic Tales Level 2 | 800-1,000 | (150 語レベル) |
| 0.7-1.6 | PGY2 Penguin/Puffin Young Readers Level 2 | 500-1,500 | YLの幅が広いので要注意 |
| 0.8 | PEK3(旧 PGK3) Pearson English Kids Readers Level 3 | 380-780 | (600 語レベルの子供向け GR) |
| 0.8 | Froggy Series | 450-700 | 音源多数有り |
| 0.8-0.9 | PER0(200 旧 PGR0) Pearson English Readers Easystarts | 800-1,000 | 字の小ささが気になる人には YL1.0 |
| 0.9-1.0 | ORT8 Oxford Reading Tree Stage 8 | 900-1,200 | |
| 1.0-1.4 | ORT9 Oxford Reading Tree Stage 9 | 1,200-1,500 | |
| 1.0-1.4 | PER1(300 旧 PGR1) Pearson English Readers Level 1 | 700-5,000 | |
| 1.0-1.5 | Curious George (Originals) | 900-2,300 | |
| 1.2 | PEK4(旧 PGK4) Pearson English Kids Readers Level 4 | 950-1,200 | (800 語レベルの子供向け GR) |
| 1.2-1.6 | ICR2 I Can Read! Level 2 | 800-2,000 | |
| 1.2-1.6 | Mr. Putter & Tabby | 600-900 | |
| 1.2-1.8 | Ricky Ricotta's Mighty Robot | 1,000-2,000 | 8巻以降はやや難 |
| SSS YL | 略称 (語彙レベル)・シリーズ名・レベル | 総語数 | 備考 |
| 1.2-1.6 | SCR3 Scholastic Readers Level 3 | 800-2,100 | |
| 1.4-2.5 | Nate the Great | 1,600-2,000 | 『ぼくはめいたんてい』 |
| 1.2-2.0 | PGY3 Penguin/Puffin Young Readers Level 3 | 1,000-3,500 | |
| 1.4-1.8 | RTR3 Ready-to-Read Level 3 | 1,000-2,800 | |
| 1.4-1.8 | UYR1 Usborne Young Reading Series 1 | 1,600-1,800 | |
| 1.4-2.0 | SIR4 Step into Reading Step 4 | 1,300-2,500 | |
| 1.6 | PEK5(旧 PGK5) Pearson English Kids Readers Level 5 | 2,000-2,200 | (1000 語レベルの子供向け GR) |
| 1.6-1.8 | UYR2 Usborne Young Reading Series 2 | 1,600-2,100 | |
| 1.6-1.8 | OTC1 Oxford Time Chronicles Series 1 | 1,900-2,100 | ORT10+ |
| 1.6-2.0 | ICR3 I Can Read! Level 3 | 1,600-2,100 | |
| 1.6-2.0 | ICR4 I Can Read! Level 4 | 1,600-2,100 | |
| 2.0-2.5 | SIR5 Step into Reading Step 5 | 3,000-4,800 | |
| 2.0-2.5 | Rainbow Magic / Franny K. Stein | 4,000-5,000 | |
| 2.2 | PEK6(旧 PGK6) Pearson English Kids Readers Level 6 | 3,200-3,500 | (1200 語レベルの子供向け GR) |
| 2.2-2.4 | The Cobble Street Cousins | 3,300-4,000 | |
| 2.2-2.6 | PER2(600 旧 PGR2) Pearson English Readers Level 2 | 2,400-11,000 | |
| 2.5-3.0 | Cam Jansen Mysteries | 4,800-5,200 | |
| 2.5-3.0 | Marvin Redpost | 4,600-6,700 | 全音源有り |
| 2.5-3.0 | My Weird School | 6,300-7,600 | |
| 2.5-3.0 | Magic Tree House | 4,700-6,000 | パターンをつかむと楽 |
| 2.5-3.0 | Junie B. Jones | 5,400-7,900 | |
| 2.8-3.0 | Who is/was Series | 7,000-8,000 | ノンフィクション |
| 2.8-4.0 | Captain Underpants | 5,000-12,000 | 大人にはやや難しめ |
| 3.0-3.5 | A to Z Mysteries | 6,500-8,500 | |
| 3.0-3.5 | A True Book Series | 1,400-3,200 | ノンフィクション |
| 3.0-3.5 | The Buddy Files | 11,000 | 犬好きにお薦め |
| 3.0-3.5 | Dragon Masters | 6,000 | |
| 3.2-3.8 | PER3(1200 旧 PGR3) Pearson English Readers Level 3 | 5,400-23,000 | |
| 3.5-4.0 | Geronimo Stilton | 8,800-10,000 | 子どもにはもう少しやさしめ |
| 3.5-4.0 | The Haunted Library | 12,000 程度 | |
| 4.0-5.0 | PER4(1700 旧 PGR4) Pearson English Readers Level 4 | 12,000-42,000 | |
| 4.5-5.0 | Charlie and the Chocolate Factory | 29,743 | 『チョコレート工場の秘密』 |
| 4.5-5.0 | The Losers Club | 46,368 | Andrew Clements |
| 5.0-6.0 | PER5(2300 旧 PGR5) Pearson English Readers Level 5 | 14,000-46,000 | |
| 5.0-6.0 | The Saga of Darren Shan | 40,000 程度 | 『ダレン・シャン』 |
| 5.0-6.0 | Alex Rider Adventures Series | 60,000 程度 | |
| 5.5-6.5 | Cherub Series | 70,000 程度 | |
| 6.0-7.0 | PER6(3000 旧 PGR6) Pearson English Readers Level 6 | 22,000-34,000 | |
| 6.0-7.0 | The Sky is Falling | 72,000 | Sidney Sheldon |
| 6.0-8.0 | Harry Potter | 76,000-260,000 | 巻が進むほど長く、難しめになる |
| 6.5-7.5 | House of Night | 77,000-106,000 | P.C. Cast のパンパイアもの |

※ YL の目安として、児童向け GR の Pearson English Kids Readers、一般向け GR の Pearson English Readers を表の中にいれています。

2020年2月1日初版発行

2020年2月1日第1刷

発行：日本多読学会 作成協力：(株)ネリーズ

発行責任者 黛道子 編集責任者：古川昭夫

執筆者：鬼丸晴美 神田みなみ 国重徹 栗下典子 小柳典子 高瀬敦子
高良則子 西澤一 藤井数馬 古川昭夫 逸見一志 黛道子
宮本恵理子 諸木宏子 山田崇人 湯川敬子 (50音順)